

| | | | | | | | |
|------|--|----|----|------|--|-----------|----|
| 授業科目 | * グラマー・コンポジションⅡ（再履修者用） | | | | | 実務家教員担当科目 | - |
| 単位 | 2 | 履修 | 必修 | 開講年次 | 1 | 開講時期 | 後期 |
| 担当教員 | 塚本 美紀 | | | | | | |
| 授業概要 | 前期で学習した英文法の知識を土台とし、さらなる文法問題演習を行うことで文法の基礎を固める。理解を深めるために、学習した英文法を使って英語で文章を書いたり、話したりしながら、文法知識のさらなる定着と発信のための運用力の向上を図る。 | | | | | | |
| 授業形態 | 対面授業 | | | 授業方法 | ペアワークやグループワークを行う。また、Google フォームを用いて、質問等を受け付ける。 | | |

学生が達成すべき行動目標

| | |
|--------|---|
| 標準的レベル | 1. 英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解し、正しい文法を選択することができる。 2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書くことができる。 |
| 理想的レベル | 1. 英文法の基礎（用法・機能・意味・特殊表現等）を理解し、正しい文法を選択することができるだけでなく、その文法項目に関して 人にわかりやすく説明することができる。 2. 学習した文法知識を基にして、正しい英文を書けるだけでなく、ある程度まとまった文章を英 文で書くことができる。 |

評価方法・評価割合

| 評価方法 | 評価割合（数値） | 備考 |
|------------------|----------|----|
| 試験 | 0 | |
| 小テスト | 75% | |
| レポート | 0 | |
| 発表（口頭、プレゼンテーション） | 10% | |
| レポート外の提出物 | 15% | |
| その他 | 0 | |

カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング

| | | | | | | | | | | | |
|--|---|-----|---|-----|---|-----|---|-----|---|-------------|----------|
| DP1 | ○ | DP2 | - | DP3 | - | DP4 | - | DP5 | - | ナンバリング | EN11104J |
| 学習課題（予習・復習） | | | | | | | | | | 1回の目安時間（時間） | |
| 予習として教科書の該当部分の解説を読み、演習問題を解く。復習として、次回の小テストの準備をする。 | | | | | | | | | | 4 | |

授業計画

| | |
|-----|---|
| 第1回 | Unit 1. Just one bottle of orange juice 数えられる名詞と数えられない名詞、集合名詞等について学ぶ。 |
| 第2回 | Unit 2. I major in business be 動詞と一般動詞について、前期で学んだことを振り返ることに加え、いろいろな意味を持つ一般動詞についても学ぶ。 |
| 第3回 | Unit 3. Only on special occasions 会話の中で使われているさまざまな前置詞を取り上げ、文脈の中で学ぶ。 |

| | |
|-----------------------|--|
| 第 4 回 | Unit 4. I want to buy T-shirts or caps 会話の中で使われているさまざまな接続詞を取り上げ、文脈の中で学ぶ。 |
| 第 5 回 | Unit 5. I'm checking a flight schedule 現在形と現在進行形がたくさん含まれている会話文を読んで、それぞれ用法の違いについて学ぶ。 |
| 第 6 回 | Unit 6. He led a huge march in Washington, D.C. 過去形と過去完了形について前期に学んだことを振り返り、会話の中で使用されている例を見て、その用法の違いについて学ぶ。 |
| 第 7 回 | Unit 7. What are you going to do? 未来形を表すためのさまざまな表現とその用法の違いについて学ぶ。 |
| 第 8 回 | Unit 8. Can I have a single room tonight? can と may について、さまざまな使用例を見て、ニュアンスの違いについて学ぶ。 |
| 第 9 回 | Unit 9. That would be the perfect thing to do could と would のさまざまな意味と用法について学ぶ。 |
| 第 10 回 | Unit 10. Do I have to sign up for the lesson? should, must, have to, had better の用法について学んだ後、それらを使って自分の家のルールについて英語で表現する。 |
| 第 11 回 | Unit 11. I got fascinated with the beauty of the town 受動態のさまざまな用法について学ぶ。 |
| 第 12 回 | Unit 12. did you bring anything to eat? 不定詞について前期に学んだことについて振り返り、不定詞を用いて、自分がどのような目的で物事に取り組んでいるかについて英語で述べる。 |
| 第 13 回 | Unit 13. It's the most popular restaurant 比較について前期に学んだことについて振り返り、比較の表現を使って好きなアーティストグループを紹介する文章を書く。 |
| 第 14 回 | Unit 14. The guy who moved next door is very strange 関係詞について前期に学んだことを振り返り、関係詞を用いて身の回りの人物を英語で表現する。 |
| 第 15 回 | Unit 15. If you were me, where would you go? 前期に学んだ仮定法過去について振り返り、「海外のどこの国にでも行ける航空券が 2 枚当たったら、あなたはどこに行きますか」というテーマで英語の文章を書く。 |
| テキスト | 『Grammar Network』 Hiromi Akimoto & Mayumi Hamada 著 (2019 年) センゲージ ラーニング |
| 参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介 | 必要に応じて指示する。 |
| 課題に対するフィードバックの方法 | 小テストは採点後、返却する。Google フォームに記入された質問については、次の授業で説明する。 |
| 学生へのメッセージ・コメント | 文法はスピーキング、リスニング、リーディング、ライティングすべてに必要な知識です。理解が曖昧だった文法事項を確実に理解できるようにすることで、英語の表現の幅も広がるし、情報を正しく聴き取ったり読み取ったりすることもできるようになります。文法はすべての基礎となりますので、基礎が固まっていくことを意識しながら予習や復習をしっかりとやっていきましょう。 |